

動物園

よもやまばなし



⑦

ホンドタヌキの衣替え

「むかし昔あるところにタヌキがいました。」

さて、皆さんの頭に浮かんだのはどんなタヌキでしょうか？丸くてふっくらしているタヌキではないでしょうか。

桐生が岡動物園には、「ホンドタヌキ」という日本固有種のタヌキがいます。ホンドタヌキは日本人にとって暮らしや昔話などで身近な存在になっていますが、このホンドタヌキは季節によって、外見が大きく異なっていることをご存じでしょうか。



秋から冬の姿



春から夏の姿

ホンドタヌキは四季のある日本の環境変化にも、「ダブルコート」という二層構造の被毛と、脂肪の蓄積量を変化させることで適応しています。ダブルコートとは、1つの毛穴から生える被毛が、太く硬い毛の「オーバーコート（上毛）」と細く柔らかい毛の「アンダーコート（下毛）」の二層で構成された状態で、オーバーコートには乾燥や害虫などから皮膚を保護する役割、アンダーコートは体温調節の役割があります。

ホンドタヌキ担当

ちあや

千綾

みさき

美咲

技術員



抜け落ちたアンダーコート

このアンダーコートは、春から徐々に抜け落ち、見た目は細くなります。そして秋になるとつれて新しいアンダーコートが生え、食欲も冬に向けて増して脂肪を蓄えるので、夏と比べて冬は体重が約2倍になります。そのため季節によって見た目が大きく異なるのです。

実はアジアの一部にしか生息していない、世界的にみると珍しいホンドタヌキ。私たちはこの魅力ある動物が日本でずっと見られるように学び、守り続けていきたいですね。問い合わせ先はばたけ山田製作所桐生が岡動物園（☎224442）

桐生っ子

パチリいい顔

市内に居住する3歳まで（申し込み時）の桐生っ子を募集します。

申し込み = Eメール (miryoku@city.kiryu.lg.jp) にお子さんの氏名（ふりがな）、生年月日、住所、保護者氏名、電話番号を記入し、お子さんの画像データを添付のうえ、魅力発信課（☎内線505）へ。



いとう りっか
伊藤 六花ちゃん
1歳9か月
(境野町七丁目)



あわじ こたろう
淡路 心大朗ちゃん
5か月
(菱町四丁目)



ゆり たける
由利 丈琉ちゃん
1歳2か月
(広沢町四丁目)

広告